

リレーは五輪絶望的に

陸上女子 福島(帯南商)がメンバー

陸上のリオデジャネイロ五輪出場権を懸け、福島千里(北海道ハイテクAC)帯南商高出)ら女子4000リレー、1600リレーの日本代表候補は10日、大阪・ヤンマースタジアム長居で行われた大阪選手権

に出場した。両種目とも五輪出場に必要な国際陸連ラッキング圏内に入るタイムを出せず、出場は絶望的となった。

福島、齋藤愛美(岡山・倉敷中央高)、世古和(乗馬ククレイン)、エドバール・イヨバ(日大)の4000リレーは44秒03に終わり、目標としていた43秒39の日本記録に届かなかつた。青山聖佳(大阪成蹊大)、石塚晴子(東大阪大)、市川華菜(ミズノ)、吉良愛美(アットホーム)の1600リレーは3分30秒91が最高だった。

五輪のリレー種目は昨年の世界リレー大会上位8チームと、今月11日が期限の持ちタイム(上位2レースの合計)でランク9、16位の8チームが出場可能。国際陸連の4日付最新ランクで日本は400リレーが18位、1600リレーは17位。

この日、1600リレーで持ちタイムを伸ばしたが、現在16位のタイムを超えられなかった。